

輸出事業計画

※申請者名：有限会社 白水商店、品目：鮮魚

1. 輸出における現状と課題

【輸出における現状】

世界中の料理人から寄せられる日本の高品質な魚への需要に応えるべく、輸出に取り組んだ。また、日本と海外との嗜好や好みの違いを生かせる点も、輸出を開始したきっかけである。

現在は、米国アメリカ向けに輸出している国内商社と、信頼関係を深めていっており、工場の完成次第、輸出条件が整うため米国アメリカ向けの注文を頂けそうな状況である。

【輸出における課題】

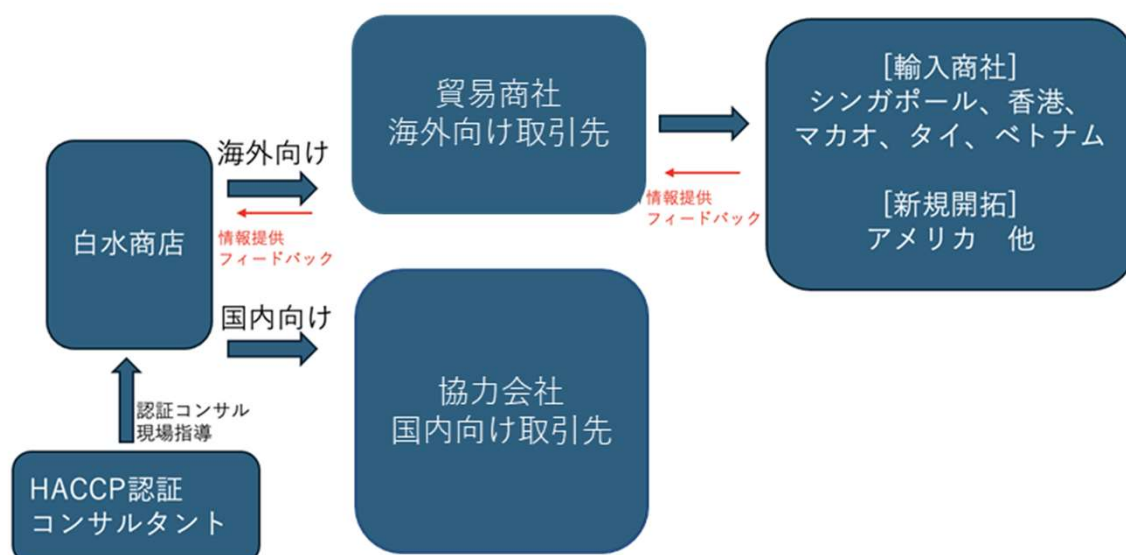
○ターゲット国：アメリカ

- ・製造：生産性の向上
サイズや品質に応じた企画の変更を適切かつ迅速に進める
人員確保
- ・販売：営業職の数の不足
- ・流通：クーリエ便は時間とコストがかかる

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・製造：HACCP対応の加工場の整備を実施
育成・指導(食品衛生の教育や業務効率化、HACCPの理解など)に力を入れる
人材斡旋会社との協議を進める
- ・販売：営業職の人材確保に向け、人材斡旋会社との協議を進める
新入社員の育成(魚の種類や喫食方法、販売形態の知識)に力を入れる
- ・流通：現地法人の協力や、他社が使用している運送ルートの活用を模索する

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



※申請者名：有限会社 白水商店、品目：鮮魚

4. 輸出目標額

品目：鮮魚	現状年 2024年度	目標年 2032年度
輸出額（千円）	158,562	178,562
輸出量（kg）	37,100	41,500
輸出先国	シンガポール、香港、台湾、マカオ、タイ、ベトナム	シンガポール、香港、台湾、マカオ、タイ、ベトナム、アメリカ等